公益財団法人 大阪産業局 O.B.D.A. OSAKA BUSINESS DEVELOPMENT AGENCY　挑戦都市 やってみなはれ! 大阪プラン　The Osaka Chamber of Commerce and Industry 大阪商工会議所　EXPO 2025　Osaka Healthcare Pavilion Nest for Reborn

記者配布資料

令和６（２０２４）年２月１３日

大阪経済記者クラブ会員各位

2025 年大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン 「展示・出展ゾーン」のニュースレター第 4 号を発行します。 ～2024 年 3 月末（予定）の出展企業公表に向けて～

【お問合せ】公益財団法人大阪産業局　万博共創ビジネス推進部（井上、稲生、瀬川）
ＴＥＬ：０６－６９４７－４３６５
大阪商工会議所　地域振興部　万博協力推進室（恵、本、玉川）
ＴＥＬ：０６－６９４４－６３２３

中小・スタートアップ出展企画推進委員会（公益財団法人大阪産業局・大阪商工会議所共同設置／委員長＝立野純三・公益財団法人大阪産業局理事長・大阪商工会議所副会頭）は、2024 年 2 月 13 日に、**2025 年大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン内「展示・出展ゾーン（※）」に関するニュースレター第 4 号を発行します。**

当ニュースレターは 2023 年 11 月 13 日から発行を開始。第 4 号では展示・出展ゾーンへの出展をめざす企業を支援する支援機関を取材し、これまでの取り組みや支援内容等を紹介します。

ニュースレター第 4 号の紙面は、下記の URL からもご覧いただけます。

URL：https://osaka2025.site/newsletter/　【「展示・出展ゾーン」ホームページ】

（※）展示・出展ゾーンは、数ある応募の中から選ばれた大阪府内の優れた中小企業・スタートアップ約 260 社が万博会期中の 26 週間、週替わりで出展するエリアです。出展をめざす企業は、支援を受けながらこれまで世の中になかった新技術や新製品の開発に取り組みます。

◆ニュースレター第 4 号概要

・発行日：2024 年 2 月 13 日（火）
・掲載している支援機関（50 音順／敬称略）
　L 大阪商工会議所（ファッション／町工場）
　L 大阪商工信用金庫
　L 一般社団法人 大阪府経営合理化協会
　L 大阪府中小企業団体中央会
　L 一般社団法人 関西イノベーションセンター

◆発行元

・中小・スタートアップ出展企画推進委員会事務局
　L 公益財団法人大阪産業局　万博共創ビジネス推進部
　L 大阪商工会議所　地域振興部　万博協力推進室

◆その他情報発信媒体

・展示・出展ゾーン公式 HP URL：https://osaka2025.site/
・展示・出展ゾーン公式 SNS アカウント（X：旧 Twitter）ユーザー名：@exposaka_reborn

＜添付資料＞
・資料_「展示・出展ゾーン」ニュースレター第 4 号

以上

“万博×中小企業・スタートアップ”のこれから

～2024年3月末の出展企業公表に向けて～

大阪ヘルスケアパビリオン内
「展示・出展ゾーン」
- News Letter -
【Vol.4】2月13日（火）発行

▲一般社団法人 関西イノベーションセンター（MUIC Kansai）

▲大阪商工会議所

▲一般社団法人 大阪府経営合理化協会

▲大阪商工信用金庫

各企画ごとの企業交流会や打ち合わせの様子。それぞれ万博に向けて盛り上がってきています！

＼ 中小企業・スタートアップがミライを魅せる！ ／

◀ 「展示・出展ゾーン」公式ホームページ
【URL】https://osaka2025.site/

公式SNS：X（旧Twitter）▶
【ユーザー名】@exposaka_reborn

Osaka Healthcare Pavilion
Nest for Reborn

2025年万博への出展をめざす中小企業・スタートアップを支援するリボーンチャレンジ実施主体。今回は「大阪商工会議所（繊維・ファッション）」「大阪商工会議所（町工場）」「大阪商工信用金庫」「（一社）大阪府経営合理化協会」「大阪府中小企業団体中央会」「（一社）関西イノベーションセンター」の6者を取材しました。各団体の取り組みや万博への想いなどを全力でお伝えします！

・企画・テーマの趣旨は？
・企業にはどんな支援を？
・万博にかける想いは？

▲12月22日 大阪府中小企業団体中央会 取材時

リボーンチャレンジ実施主体名

大阪商工会議所　KanFA 協同組合 関西ファッション連合

【企画・テーマ名】
・サステナブルに基づく繊維・ファッション産業の未来共創プロジェクト

ファッションに＋αの価値をつける

繊維・ファッション産業が次に生み出す付加価値の1つとして「地球に良いもの、社会に良いもの」、すなわち“サステナブル”が挙げられている。「ファッションと一言で言っても、オシャレであることが全てではない」と担当者は話す。ファッションを楽しむことが、そのまま地球環境の改善につながっていく…そういった形でSDGsにもつなげられるよう、大阪商工会議所は、関西ファッション連合、各出展企業とともに、万博で次の繊維・ファッション産業が向かうべき方向性を探る。

繊維産業の文化を万博にも

船場に代表されるように、大阪の繊維・ファッション産業には、元々“協業”の文化がある。服を作る際もデザイン・縫製・生地・ボタン…など様々な事業者が連携して1つのものを作り上げる。万博に向けても、企業同士のプレゼン＆交流会を定期的に開催し、協業の力で新しいものを生み出す予定だ。

大阪商工会議所
住所　：〒540－0029
大阪市中央区本町橋2－8
電話　：06－6944－6493
担当窓口：流通・サービス産業部

リボーンチャレンジ実施主体名

大阪商工会議所　この街のホームドクター 大阪信用金庫

【企画・テーマ名】
・身近な課題や世界のお困りごとを大阪の町工場が解決します！

大阪の町工場が集い、つながる

2015年以降、大阪商工会議所では「町工場ネットワーク構築事業」を実施し、大阪市内の中小製造業が新たなつながりを作る交流会を開催している。年5回程度の開催で、これまでに参加した企業の数は累計で約500社。その活動を通じて、複数の町工場が1つのものを作り、世の中の課題を解決してきた事例もある。万博出展もその延長と捉え、大阪信用金庫とともに参加する企業に対して、手厚く支援を行う。

町工場の技術を世界に

自社の技術の高さを披露できる場面がありながらも、これまで日の目を見なかった町工場の技術は多いという。今回の出展候補となっている企業の中には、従業員数が一桁というところもあるようだが、技術の高さに会社規模、人数は関係ない。だからこそ、「万博という大きな舞台で、町工場の技術が世界に通用することが伝わるような展示をめざしたい」と担当者は万博への想いを語っていた。

大阪商工会議所
住所　：〒540－0029
大阪市中央区本町橋2－8
電話　：06－6944－6461
担当窓口：中小企業振興部

※掲載している内容は、いずれも発行時点のものです。
今後の事業の進展によって変更になる可能性があります。

【本件に関する問い合わせ先】
中小・スタートアップ出展企画推進委員会事務局　担当：井上
（公益財団法人 大阪産業局内）
TEL：06－6947－4365 MAIL：m-inoue@obda.or.jp

EXPO 2025

©Expo 2025

リボーンチャレンジ実施主体名

大阪商工信用金庫

【企画・テーマ名】
・Rethink まちからはじまる、脱炭素への取り組み　まちと社会、これからのくらし

脱炭素をもっと身近に

大阪商工信用金庫が今回掲げる"Rethink"には、「脱炭素を自分ごととして考えるきっかけにしてほしい」という想いが込められている。

脱炭素はエネルギー産業や大企業が考えること…と思われがちだが、決してそうではなく、一人一人が脱炭素に向き合えるように、テーマの中に"まち・くらし"といった生活に身近なキーワードを盛り込んだようだ。

"欲望"との組み合わせで浸透を図る

"身近な脱炭素"を表現するうえで、大阪商工信用金庫は、脱炭素を生活者目線に落とし込むことに日々尽力する企業をアドバイザーとして招いた。「可愛いと思って買ったもの、美味しいと思って食べたものが脱炭素につながるものだった」といったように、"欲望×脱炭素"というキーワードを軸にすることが脱炭素を浸透させるうえで重要だという。脱炭素関連の企業にはBtoB企業も多い中、アドバイザーの意見を取り入れ、生活者目線での新しい脱炭素の魅せ方を磨いていくとのことだ。

大阪商工信用金庫
住所：〒541－0053
大阪市中央区本町2－2－8
電話：06－6267－2865
担当窓口：経営企画部

リボーンチャレンジ実施主体名

ひろげよう創造と連帯
一般社団法人大阪府経営合理化協会

【企画・テーマ名】
・幸福寿命の実現をめざして

「幸福寿命」という考え方

幸福の形は人によってさまざま。「健康寿命という言葉もあるが、健康でなければ幸せを感じられない…ということではないはず」といった考えから、大阪府経営合理化協会は"幸福寿命"という言葉をテーマに掲げた。どんな状況に置かれた人でも幸せを感じられる未来を表現すべく、万博では「QOL」「趣味・癒し・食」「社会課題解決」の3つのコンセプトに分け、アプリなどを活用しながら、幸福寿命をイメージさせる展示案を固めていく予定だ。

大阪モデルで作る50年後の当たり前

コンセプトごとに出展企業は異なるが、目指す方向は"50年後の当たり前を作る"こと。

例えば、携帯電話は1970年の万博で初めて世に出たが、今では当たり前のものになっている。それを踏まえ、今回の万博を通じて、「大阪の中小企業・スタートアップが力を合わせて未来の当たり前を生み出す"大阪モデル"を確立したい」と担当者は意気込む。

一般社団法人 大阪府経営合理化協会
住所　：〒540－0029
大阪市中央区本町橋2－5（マイドームおおさか内）
電話　：06－4794－9090
担当窓口：万博担当

リボーンチャレンジ実施主体名

大阪府中小企業団体中央会

【企画・テーマ名】
・パワースポット　IN OSAKA 中小カンパニー

万博会場にパワースポットを生み出す

「大阪の中小企業が集まれば、それだけでそこはパワースポットになる。それぐらい大阪の中小企業は元気がある」と、大阪府中小企業団体中央会の担当者はテーマの由来を話す。つまり、展示・出展ゾーンをパワースポットそのものにしてしまおうという考えだ。これまで様々な業界の府内企業を支援してきた背景から、出展候補となっている企業への期待を寄せる。

万博で交わる、伝統と未来

中央会は今回、多岐にわたる団体を通じてリボーンチャレンジの参加企業を募集した。その結果、伝統産業の分野などから応募があった一方で、半導体を扱うような最先端企業などからも応募があったという。伝統と未来…この2軸が万博でどのように交わるのか注目したい。

また、経済産業省が推進する「デザイン経営」の考え方を伝えるなど、万博をゴールにするのではなく、企業にとって未来に活き続けるような支援を幅広く実施している。

大阪府中小企業団体中央会
住所　：〒540－0029
大阪市中央区本町橋2－5（マイドームおおさか内）
電話　：06－6947－4370
担当窓口：総務部　総務企画課

リボーンチャレンジ実施主体名

MUIC Kansai

【企画・テーマ名】
・観光の新規事業の実験場　～観光産業から、関西を元気に～

観光分野の社会課題を解決する

関西イノベーションセンターは三菱UFJ銀行が2021年に設立した団体で「観光インバウンド産業」を軸に関西の活性化をめざしている。

観光と聞くと楽しいイメージが先行するかもしれないが、感染症対策やオーバーツーリズムなど、実際は課題も多い。そのような課題を解決すべく、これまでスタートアップ等とともに50件以上の実証実験を行い、9件のプロジェクトを社会実装させた。2025年までにその数を20件まで伸ばし、「社会はどう変わっていくのか」を万博で披露するとのことだ。

観光から見出した無限の可能性

高齢者施設向けのリモート観光サービスやオーバーツーリズム対策につながるナイトイベントなど、やればやるほど観光が解決できる課題は多いことがわかってきたという。

「観光×医療」、「観光×スポーツ」など、万博では観光の概念がアップデートされるような未来が見られるかもしれない。

一般社団法人 関西イノベーションセンター
（施設名：MUIC Kansai）
住所　：〒541－0044
大阪市中央区伏見町3－6－3
電話　：070－3798－1230
担当窓口：万博担当

【編集後記】いよいよ来月、展示・出展ゾーンの出展企業を公表させていただくわけですが、各企画ごとの企業の顔ぶれはかなり具体的になってきているようです。公表のタイミングが決まり次第お伝えしますので、楽しみにお待ちいただければと思います！（井上）

次回、第5号は「3月中旬」発行予定！

【本件に関する問い合わせ先】
中小・スタートアップ出展企画推進委員会事務局　担当：井上
（公益財団法人 大阪産業局内）
TEL：06－6947－4365 MAIL：m-inoue@obda.or.jp

OSAKA, KANSAI, JAPAN EXPO 2025

©Expo 2025